



株式会社TAKE-GEN

<https://www.take-gen.com/>

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年 10 月 1 日～ 2024 年 9 月 30 日)



作成日: 2024年10月25日
更新日: 2024年11月10日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業・製品の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価	7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	10
緊急事態対応訓練	10
代表者による全体の評価と見直し・指示	11
これまでの環境活動の紹介	11~12

□ごあいさつ

株式会社TAKE-GENは、ドライクリーニング機開発の技術を核として、その要素技術(活性炭によるガス回収、溶剤蒸留再生による再利用)の他業種への応用を図り、環境保全機器メーカーとして展開しています。これは、低濃度放射線汚染物の除去処理、宇宙関係のエンジンの最終洗浄システムの清浄度管理工程等に結実しています。すなわち減圧蒸留法を核とする減圧脱水乾燥装置によって生産工程から排出される高濃度廃液を蒸留濃縮し、産業廃棄物の低減、並びに資源化、蒸留水の再利用の提案を行っています。また、この装置は減圧化で限りなく蒸留濃縮するだけでは無く排水廃液からの乾燥残渣10%以下までの一括処理が出来る世界でONLYONEの技術との評価を得ています。

環境経営方針

<環境経営理念>

株式会社TAKE-GENは、ますます深刻化する地球温暖化や、地下資源の枯渇などの環境問題が、経営の重要課題との認識にたち、製造・販売事業活動における環境負荷の低減を図るために、業界・団体とも連携し、会社一丸となって、自主的・積極的に、環境経営の継続的改善を図ってまいります。

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 次の事項について環境経営目標・環境経営計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ①電力及び燃料の二酸化炭素排出量の軽減(低炭素社会への対応)
 - ②水道水使用量の軽減(水資源の保全)
 - ③廃棄物の削減
 - ④環境に配慮した設備の販売向上を推進します。
 - ⑤環境に配慮した生産活動を推進します。
3. 環境への取組みを環境経営活動レポートとしてとりまとめ公表します。
4. この環境経営方針は、全従業員に周知・徹底します。

制定日：2018年11月1日

改定日：2024年4月15日

代表取締役

志水俊也



□組織の概要

更新日：2024年10月2日

(1) 名称及び代表者名

株式会社TAKE-GEN
代表取締役 志水俊也

(2) 所在地

本 社 大阪府大阪市大正区南恩加島5丁目8番6号

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	代表取締役	志水俊也	TEL:06-4394-5008
担当者	総務	船橋明子	TEL:06-4394-5008

(4) 事業内容

環境関連機器(減圧脱水乾燥装置、溶剤回収装置等)の製造・販売及びメンテナンス

(5) 事業の規模

売上高 30,761 万円 (2023年度)

	本 社	製造工場	合計
従業員 名	4 名	4 名	8 名
延べ床面積 m ²	33 m ²	500 m ²	533 m ²

(6) 事業年度 10 月 1 日 ~ 9 月 30 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社TAKE-GEN

対象事業所： 本 社

対象外： なし

活動： 環境関連機器(減圧脱水乾燥装置、溶剤回収装置等)の製造・販売及びメンテナンス

□事業や製品(商品)の紹介

減圧脱水乾燥装置

さまざまな汚泥・廃水から効率良く水のみを回収し(濃縮)
廃液物を減少します。

溶剤回収装置

ペーパーを活性炭に吸着させ、スチームにより、
液体として回収します。



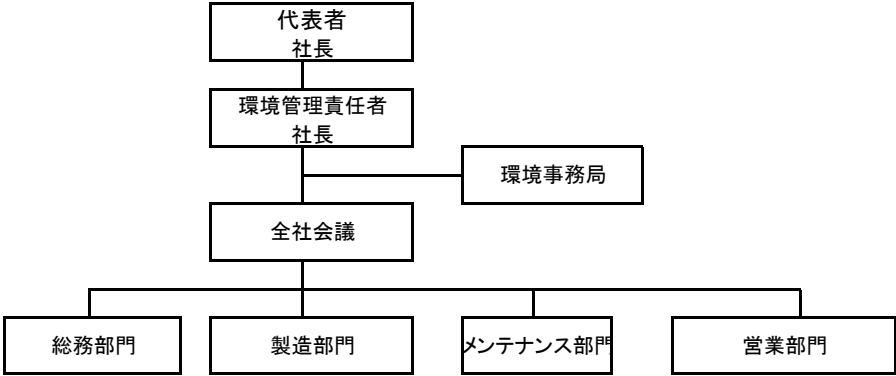
減圧脱水乾燥装置100型



溶剤回収装置

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：2024年4月1日



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、全社会議の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
全社会議	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	7,829	10,104	15,590
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	118	118	118
産業廃棄物排出量	トン	0.8	0	0.0
総排水量	m ³	0	21	44

※ 二酸化炭素排出係数 0.493 kg-CO₂/kWh 関西電力の2016年度調整後の係数

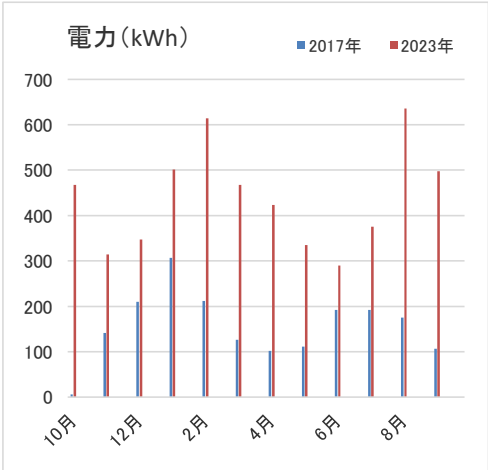
□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年		評価	2024年	2025年
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	904	895	2,598	×	886	877
	基準年度比	2017年	99%	287%		98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	5,340	5,286	12,980	×	5,233	5,180
	基準年度比	2017年	99%	243%		98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	6,244	6,181	15,578	×	6,119	6,057
一般廃棄物の削減	kg	240	235	118		235	233
	基準年度比	2017年	98%	49%		98%	97%
産業廃棄物の削減	t	0.0	0.8	0.0	○	0.7	0.6
	基準年度比	2019年					
水道水の削減	m ³	39	38	44	×	40	40
	基準年度比	2022年					
環境配慮設備機器の販売向上	台	3	3	11	○	3	3
	基準年度比	2017年	105%	367%		110%	115%
環境に配慮した生産活動	行動目標(次項による)						

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標未達成。空調温度の適正化。残暑の期間が長く感じた。次年度は再度適正化を努力します。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	×	
・不要照明の消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	

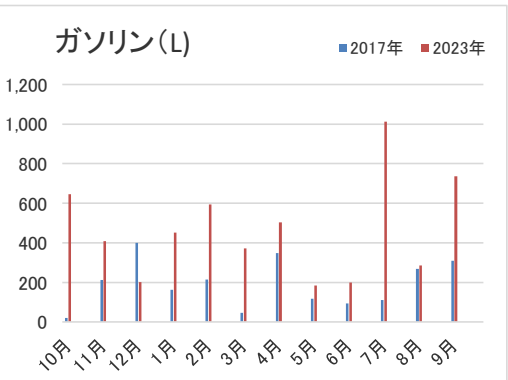


取組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	6	141	210	307	212	126	102	111	192	192	175	107
2023年	468	314	347	501	614	468	423	335	290	375	636	498

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	目標未達成。低燃費車の使用。営業案件とメンテナンスが増加、売上と比例して使用料が増えている。必要最小限の荷物積込で環境負荷削減のためのエコドライブ等に務める。
・アイドリングストップ	○	
・効率的なルートで配送	×	
・エリア別営業活動の見直し	○	

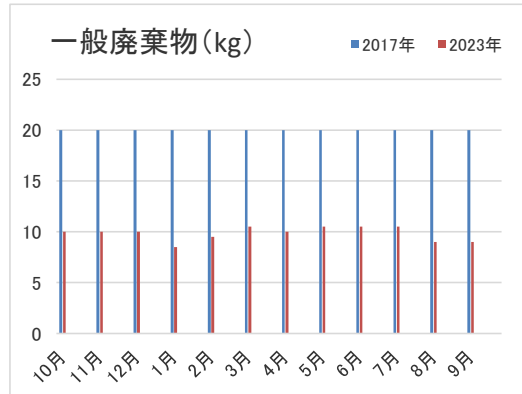


取組紹介欄



	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	19	212	400	163	214	46	348	117	93	110	269	309
2023年	645	408	202	452	593	372	503	183	199	1,013	286	735

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。今後も引き続き分別を徹底し一般廃棄物の削減に努めます。
・分別の徹底	○	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・梱包材の再利用	○	



取組紹介欄

事務所での分別徹底
当面、雑紙(ざつがみ)を含む紙
資源の分別に注力します

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2017年	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
2023年	10	10	10	9	10	11	10	11	11	11	9	9

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	目標達成。金属くず・廃プラの分別をしている。産業廃棄物処理委託廃棄量1㎡毎収集となる為引き取りに達しなかった。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・素材別ボックスの設置	○	
・リサイクル業者と委託契約成立。	○	

取組紹介欄



製造工場での分別徹底

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2019年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2023年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

水道水の削減					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容							
数値目標					○	節水の周知。							
・節水シールの貼り付けとポスター掲示					○								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2019年	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
2023年	4	3	3	4	3	4	4	4	4	4	4	4	3

取組紹介欄



環境配慮設備機器の販売向上					達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容							
数値目標					○	目標達成。 展示会への出展と、ホームページからの問い合わせも増加している。近畿経済産業局の関西ものづくり新選2023選定され幅広い分野で冊子に取り上げられた。							
・ホームページの更新・YouTube作成					○								
・展示会への出展					○								
・パンフレット・パネル作成					○								
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
2017年	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
2023年	0	2	0	1	1	2	1	1	0	0	1	2	

取組紹介欄

<https://www.take-gen.com/>

2024洗浄総合展 出展



2024NEW環境展 出展



関西ものづくり新選2023 選定



YouTube作成ホームページ更新

<https://www.youtube.com/watch?v=ZRNKxFU7r48>

☞減圧脱水乾燥装置 紹介

<https://www.youtube.com/watch?v=sgxRiMY2 JO>

☞溶剤回収装置 紹介

環境に配慮した生産活動	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ステンレスタンク洗浄での酸の未使用	○	タンクの洗浄、垂鉛めっき処理は外部の協力会社で実施している。今後とも社員および外部協力会社の取組の向上を図る。メーカーとして社内作業において、きめ細かい環境保全活動のための具体的な行動目標を設けて実践していく。
・垂鉛メッキの使用	○	
・鉛フリーのボルト使用	○	
・寸法通りの材料調達	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	処理業者との契約、廃棄物(金属・廃プラ・廃ガラス・廃油等)の管理、マニフェスト交付状況報告書
大阪府生活環境保全条例	空気圧縮機(3.7kW)
消防法(危険物)	塗料・シンナー等の保管場所の鍵および注意表示、自火報および消火器点検の実施と報告
フロン排出抑制法	業務用空調機(事務所)の簡易点検。但し現状は、家庭用エアコンのみ設置。
改正省エネ法	非化石エネルギーの利用割合の向上 購入エネルギーの非化石化
プラスチック資源循環促進法	廃プラスチックの適正処理
労働安全衛生法(特化則)	金属アーク溶接作業に関し、作業者に周知と措置を講じる
大阪府自転車条例	自転車保険・ヘルメット着用の義務化

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

期間中、外部からの苦情等はありませんでした。

□緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024年2月16日	(本社内)製造工場
■参加者： 社員全員	
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価： 初期消火の重要性について認識できた。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■消火器の点検	
	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年10月11日

当社は、日々ゼロ・ミッションを目指しています。その一環として鉄材、ステンレス材の分別やあまりスクラップが出ないように、工夫しています。また、産業廃棄物としての分別をし処理業者に適切な形で処理して頂くために委託していますが、今年度の廃棄物はあるが処理する容量に満たないため業者へは委託しない。また、工場内は、危険がつきものであるため、片付けや清掃は毎日行い常に足元の確保に努めています。今後も定期的に意見の交換や勉強会などを行い目標達成していない環境経営計画の取組にも一般社員、協力会社への周知徹底をして、(3R)無駄をなくす取り組みを全社員と協力会社合わせて今後達成をするよう指示をした。併せて、電力及び自動車燃料の目標値を現状の2023年度実績値を基準値として設定するよう変更することを指示した。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

当社は、環境機器製造販売・メンテも行っている会社です。
廃液処理装置は、主に工場から排出される高濃度廃液をそのまま流すと海、河川、下水に多大な影響があり、この廃液から水を綺麗な形で処理し処理水はリサイクル化、また、水を処理してからの残渣分(1/10程度)を資源化出来ないか検討し、資源化できる物は燃料として有価物処理となる装置を販売しています。
また、製造工場などで洗浄剤として使用されているフロン系の溶剤を蒸留して再利用出来る装置や、その溶剤が飛散して大気に蒸発していく蒸気ペーパーを活性炭で吸着し液として回収する装置も販売しています。

エコアクション21の取り組み



エコドライブのすすめ



産業廃棄物保管場所の看板設置
管理者に周知徹底を受託。

特定化学物質障害予防規則(特化則)等に基づき
金属アーク溶接作業に関し、作業者に周知と措置を講じた。



工場全体換気装置



関係者以外立入禁止装置



呼吸用保護具



ぼろ等の処理



工場での喫煙又は飲食の禁止



特定化学物質
作業責任者



休憩室の設置



工場内全域禁煙